

前後カメラ一体型フルHD
ドライブレコーダー

KDR-L30

取扱説明書



目次

1.	はじめに.....	6
1.1	機能.....	6
1.2	パッケージの内容.....	6
1.3	製品概要.....	6
2.	はじめに.....	8
2.1	microSD カードの挿入.....	8
2.2	電源への接続.....	9
2.3	ドライブレコーダーの電源オン/オフ.....	9
2.3.1	自動電源のオン/オフ.....	9
2.3.2	手動電源のオン/オフ.....	9
2.4	初期設定.....	10
2.4.1	日付と時刻を設定します.....	10
2.5	車両への取り付け.....	11
2.5.1	フロントガラスへブラケットの取付.....	11
3.	設定の調整.....	12
3.1	メニューの使用.....	12
3.2	メニューツリー.....	14
4.	ドライブレコーダーの使用.....	17
4.1	ビデオの録画.....	17
4.1.1	運転中にビデオを録画します.....	17
4.1.2	手動ビデオ録画.....	17
4.1.3	緊急録画.....	17
4.1.4	録画面面.....	18
4.1.5	スイッチレンズ.....	18
4.1.6	写真を撮影する.....	19
4.2	再生動画と写真.....	19
4.2.1	ファイルの削除と保護.....	20
5.	仕様.....	21
6.	よくある質問.....	22

本書について

本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本書の説明の通り正しくご利用ください。
本書を大切に保管してください。

本書に掲載された内容はバージョンによって実際の操作画面と異なる場合があります。
また、製品の仕様やデザインは改良、その他理由により予告なく変更する場合がありますので、
あらかじめご了承ください。
本書に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

搭載バッテリーについて

本製品にはリチウムポリマー電池を使用しています。
リチウムポリマー電池の特性上、使用環境により消耗し、
充電のパフォーマンスが低下します。
膨張や充電不良を除くリチウムポリマー電池の消耗に関しましては保証期間に関わらず
保証対象外となりますのでご了承ください。
※本製品を使用する際には、必ず付属のシガープラグコードをご使用ください。

製品サポート

本製品の保証期間は、購入から一年間となります。

< 恵安株式会社 サポートセンター >

メー ル: support@keian.co.jp

F A X : 03-3980-5327

付属品の確認

● ドライブレコーダー本体(サブカメラ付き)		1台
● シガープラグコード(USB付き)		1本
● 吸盤式取付ブラケット		1個
● 両面テープ式取付ブラケット		1個
● 取扱説明書		1冊
● 保証書		1枚

※本製品には、microSD カードは含まれておりません。

設置に関する注意事項

1. 安全かつ水平な場所に駐車して、車両エンジンを切ったあとにドライブレコーダーを設置してください。
2. 下記の条件を満たす取付位置の場所を探してください。
 - (ア) 道路運送車両法に基づく保安基準の順守のため、フロントガラス全体の上部20%以内、またはルームミラーの裏側であること。
 - (イ) ワイパーの拭き取り範囲内であること。
 - (ウ) ルームミラーの操作に干渉しないこと。
 - (エ) フロントガラス縁の着色部、運転や視界の妨げとなる位置には設置しないでください。
 - (オ) シガープラグコードが接続でき、ボタン操作がしやすいか確認できた位置であること。
 - (カ) サブカメラを使用する場合、サブカメラの撮影範囲内にルームミラーなどの視界の妨げになるものが映り込まないことが確認できる位置であること。
 - (キ) 地デジやETC、ラジオなどのアンテナ、VICS受信機付近には設置しないでください。
 - (ク) 車検シールなどに重ならない位置であること。
 - (ケ) 衝突被害軽減ブレーキシステムや防眩ミラーが装備された車の場合、それらのカメラやセンサーなどを避けた位置であること。(車メーカーの車両取扱説明書をご確認ください。)
3. 取付位置が決まったら、フロントカメラとサブカメラのレンズ部に貼ってある保護フィルムをはがします。
※ブラケットで固定する前に一度、シガープラグコードを接続し、車両エンジンを掛けます。取付予定位置からフロントカメラとサブカメラの映像を確認してください。確認後車両エンジンを切ってください。
4. 市販のクリーニングクロスなどで取付場所の汚れや油脂、水分などをきれいに拭き取ってください。
5. 同梱のブラケット(2種類)内1つをブラケット接続口に接続した後、反対側を取付場所に貼り付け、本製品を固定します。
6. シガープラグコードを本製品に接続し、市販のソフトテープやケーブルクランプを使用しフロントガラスに沿うように配線の取り回しをおこない、車のシガーライターソケットに接続してください。その際は、地デジやETCなどのその他機器のケーブルと一緒に束ねないようにしてください。
7. 取り付け後、ブラケットの角度調整用ナットを緩め、地面と進行方向に対してレンズが水平になるように角度調整をおこなってください。調整が終わったら角度調整用ナットを締めます。

ご使用の前に、この項目をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告

- 本製品が万一変形・破損・故障した場合は、すぐに使用を中止し販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
- 異物が入っていたり、煙が出ている、バッテリーが膨らんでいる、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
- 角度調節用ナットのゆるみや取付ブラケットの剥がれなどないか、定期的に点検をおこなってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

注意

- 気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
- 本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。
 - ◇ 直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。
 - ◇ 湿度が高い所やほこりの多い所。
- microSD カードを本製品に挿し込む場合、挿し込み方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
- 本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。
 - ◇ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ◇ 本体を水にぬらしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ◇ 長期間使用しなかった場合。

廃棄・リサイクルについて

- 本機やリチウムポリマー電池を一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例などに従ってください。

免責について

弊社はいかなる場合も以下の内容に関して一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- 本製品に関連して直接または間接的に発生した損害・被害、または結果的損害・被害
- 本製品は、車両の走行状態や事故時の状況を記録するための機器です。その他目的やいたずら用途に使用した場合は、個人情報保護法やプライバシーの侵害、肖像権に抵触する場合があります。またこれらについて弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品により撮影されたデータが何らかの理由により公となりまたは目的外に使用され、その結果発生した個人情報保護法やプライバシー、肖像権の侵害などを理由とするいかなる賠償請求やクレーム。
- あらゆる状況においての録画の保証。
- 記録したデータの裁判などでの証拠能力についての保証。
- お客様の誤使用や不注意による本製品の障害または破損。
- お客様による本製品の分解、修理または改造がおこなわれた場合、それに起因するかどうかにかかわらず発生した一切の故障または不具合。
- 記録したデータの何らかの原因による消失。

LED 信号機の映像について

LED 信号機の点灯とドライブレコーダーの撮影周期が一致することで信号機が点灯していないように映ることがありますが、本製品のフロントカメラは一秒間に撮影するコマ数を適正に設定することで長時間の消滅に対応しています。しかし完全に点滅を防ぐことはできず、撮影時の天候や時刻などの照度変化により点滅の間隔が変化する。そのため、点滅や色の識別ができない場合は、前後の映像や周囲の車両状況から判断してください。これらによる信号機の識別や記録に関する内容やそれにより発生した損害について弊社は一切の責任を負いません。

ラジオやテレビなどの車載機器への干渉について

本製品は特定の設置状況においてラジオやテレビの車載機器に干渉する場合があります。干渉を起こしている場合には、以下の方法をお試しいただくことで改善することがあります。

- 本製品と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されている回路と別の回路に本機を接続します。
- 受信アンテナの向きまたは場所を変える。
- 専門の取付業者や技術者に相談する。

設置場所や環境について

- 水に濡れる状況や高湿度の環境では本製品を使用しないでください。
- 高温となる場所に設置したままにする場合、本体が高温のままでは安定して動作しない場合があります。また、製品本体の寿命を縮めてしまう場合もありますので、予め予測される場合は製品本体を取り外し高温にならない場所に保管していただくか、サンシェードなどで高温から保護するなどの対策をおこなってください。
- サンシェードなどを使用する際は、本製品をフロントガラスとサンシェードなどの間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなり、本製品の故障につながる可能性があります。
- 車内が高温になっている場合は、窓を開けるなど車内の温度を下げてください。

録画映像をパソコンで確認する際に必要な動作環境について

パソコンで録画映像を確認する際は下記が必要です。

- パソコンが Windows 7 / 8 / 8.1 / 10 のいずれかがインストールされており、それぞれの Windows OS の推奨環境以上かつ、動画再生に必要なスペックを持っている。
- H.264 コーデックで出力された動画ファイルに対応したプレイヤー。
- パソコンに USB2.0 インターフェイスもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えている。

microSD カードについて

- 本製品には microSD カードは付属されておりません。ご購入の際は Class6 以上かつ容量が 8GB から 32GB までの microSDHC 規格の microSD カードをご購入下さい。これら以外の microSD カードを使用した場合、正常に動作しない可能性があります。また相性問題などにより動作しない場合も考えられますので、大手メーカー品の microSD カードをご使用ください。
- 使用する microSD カード内に本製品以外のデータを入れないでください。動作が不安定になる場合があります。
- 事故発生時は記録された録画データ上書きされないように、必ず電源をオフにしてから microSD カードを抜いて保管してください。
- microSD カードの抜き差しをおこなう際は、microSD カード故障の原因となりますので必ず電源をオフにしたあとにおこなってください。
- 万一のデータ消失に備え、こまめに必要なデータをパソコンへ保存することをお勧めします。

1. はじめに

ドライブレコーダーを購入していただきありがとうございます。このドライブレコーダーは、運転時にリアルタイムのビデオ録画とオーディオ録音用に特別に設計されています。

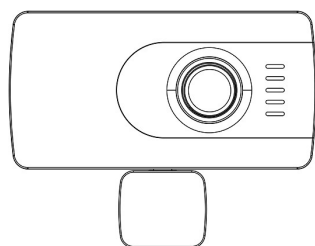
1.1 機能

- フルHDカメラ(フロントカメラ:1920x1080、サブカメラ:1280x720)
- 3.0インチディスプレイ
- フロントカメラ146°/リアカメラ105°広角レンズ
- Parking GuardとG-Sensor機能搭載による衝撃感知・緊急録画対応
- 最大32GBのmicroSDHCをサポート
※フルHD録画に必要なmicroSDカードは、クラス6以上の速度を持つmicroSDカードを推奨します

1.2 パッケージの内容

パッケージには次の項目が含まれています。紛失または破損した商品がある場合は、直ちに販売店にお問い合わせください。

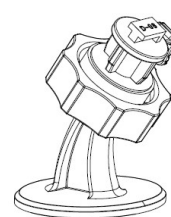
ドライブレコーダー本体



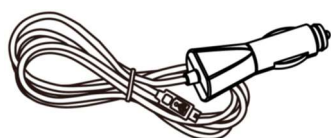
吸盤式取付ブラケット



両面テープ式取付ブラケット



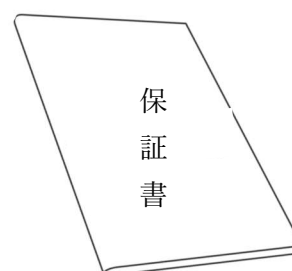
シガープラグコード
(USB付き)



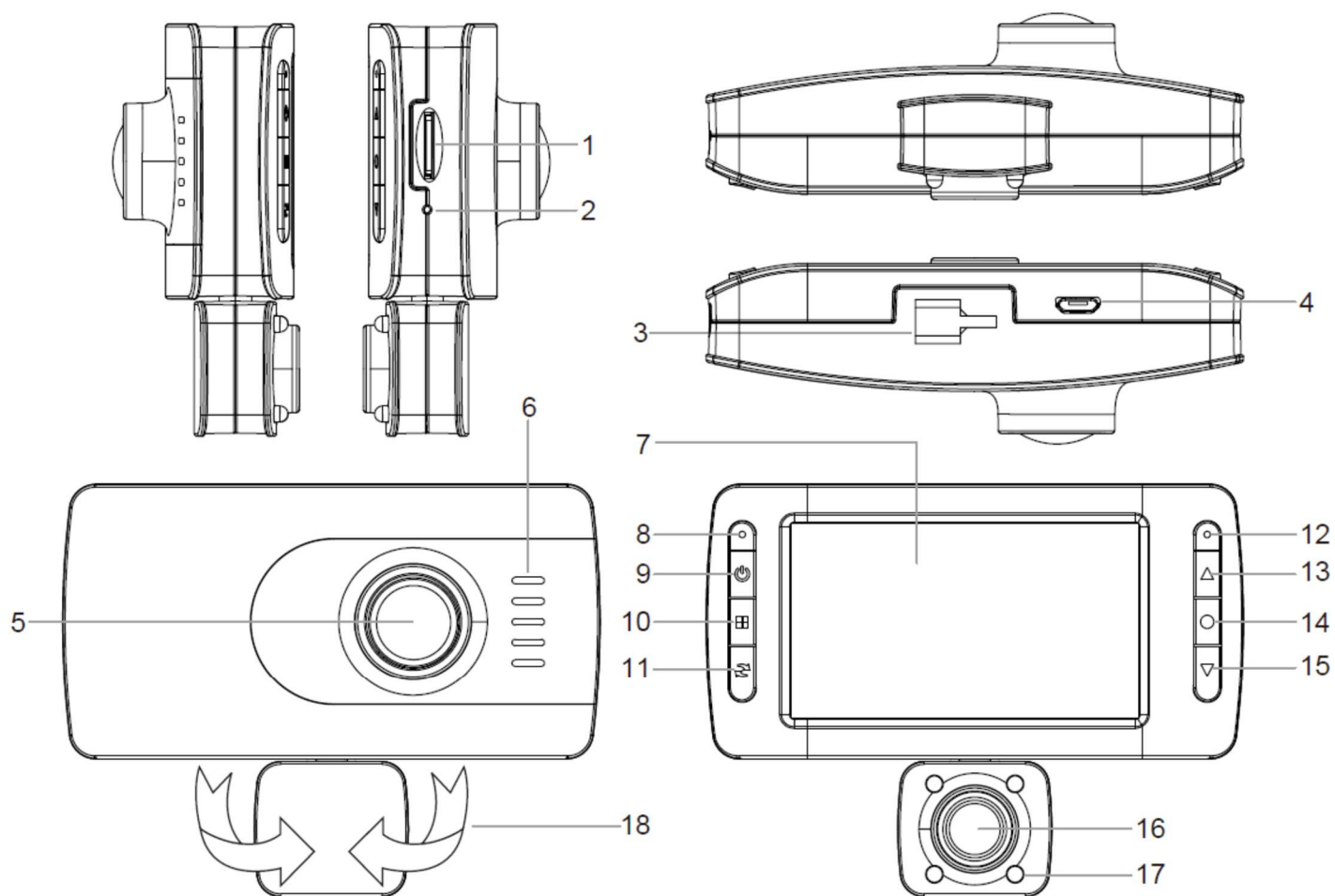
取扱説明書



保証書



1.3 製品概要



No.	項目
1	microSDカードスロット
2	リセットボタン
3	ブラケット接続口
4	microUSBポート
5	メインカメラ
6	スピーカー
7	3.0インチディスプレイ
8	電源ランプ
9	電源ボタン

No.	項目
10	メニューボタン
11	モード変更ボタン
12	充電ランプ
13	上(▲)ボタン
14	録画ボタン/決定ボタン
15	下(▼)ボタン
16	サブカメラ
17	赤外線ライト
18	270°回転領域

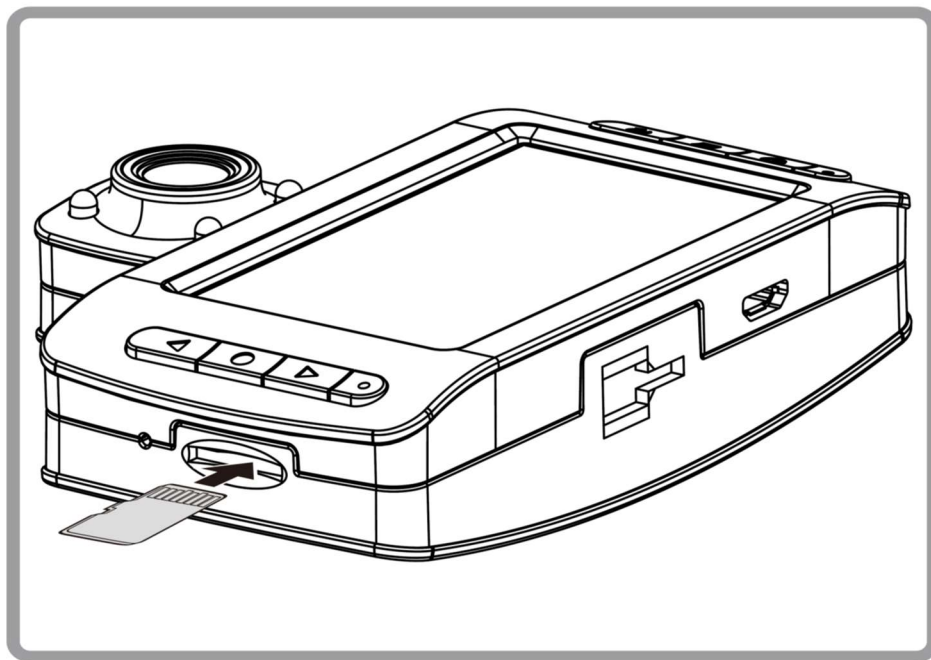
2. はじめに

2.1 microSD カードの挿入

ドライブレコーダーの背面(ディスプレイ)に金属端子部分に向け、まっすぐに挿入し、microSDカードがカチッとロックされるまで押し込みます。

(このドライブレコーダーで使用するmicroSDカードはクラス6以上を使用してください。)

最初の使用前にmicroSDカードのフォーマットすることをお勧めします。



microSDカードを取り外すには

microSDカードを取り出す際は、ロック状態で再度microSDカードを押すとロックが解除されます。

メモ:

1. ドライブレコーダーの電源が入っているときに、microSDカードを取り外したり挿入したりしないでください。microSDカードが破損する可能性があります。
2. 16または32GBのクラス6以上のmicroSDカードを使用することをお勧めします。
3. 最初の使用前にmicroSDカードをフォーマットすることをお勧めします。

2.2 電源への接続

ドライブレコーダーの電源を入れ、内蔵バッテリーを充電するには、同梱のシガープラグコードを使用します。

1. シガープラグコードの一方の端をドライブレコーダーのmicroUSBポートに接続します。
2. シガープラグコードのもう一方の端を車両のシガーソケットに差し込みます。
車両エンジンが始動すると、ドライブレコーダーへ自動的に電源が入ります。

メモ:

- 環境温度が45°C以上に達した場合には、シガーソケットからドライブレコーダーに電力供給できませんが、バッテリーを充電できない場合がありますのでご注意ください。これはリチウムポリマー電池の特徴であり、誤動作ではありません。

2.3 ドライブレコーダーの電源オン/オフ

2.3.1 自動電源のオン/オフ

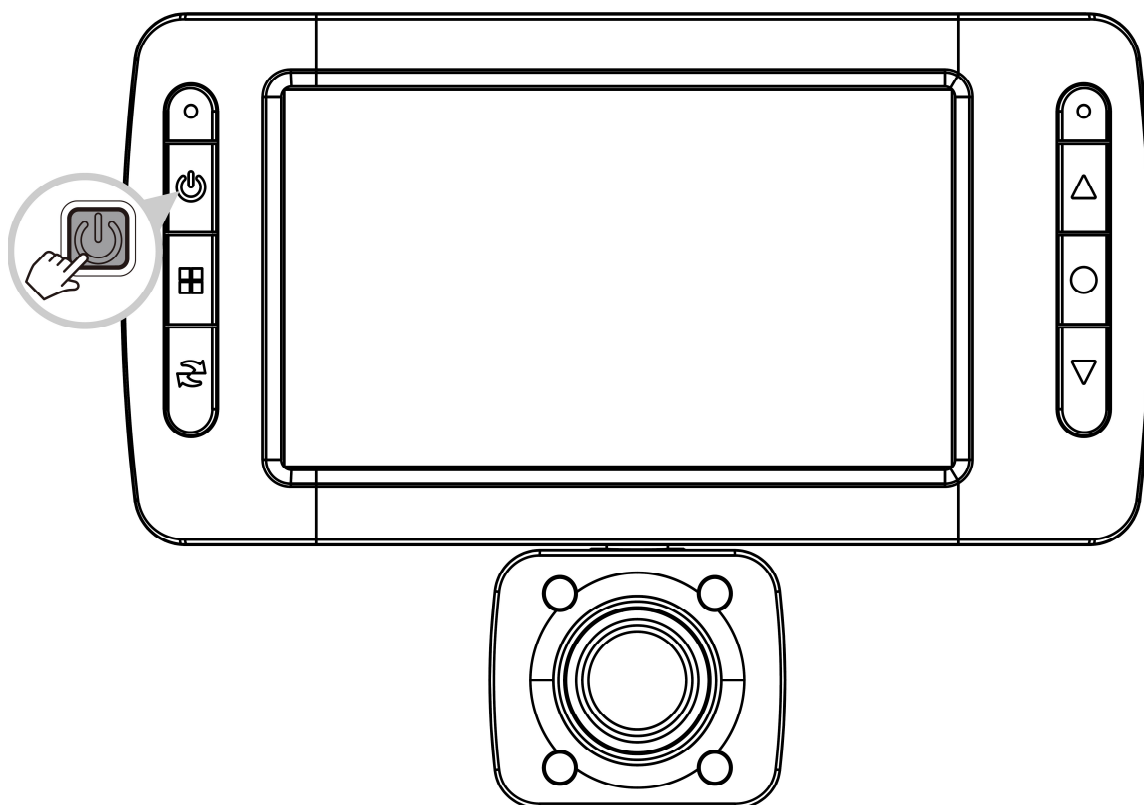
車両エンジンが始動すると、ドライブレコーダーが自動的にオンになります。自動記録機能を有効にすると、ドライブレコーダーの電源が入った直後に自動的に録画が開始されます。

車両エンジンが停止すると、ドライブレコーダーは自動的に記録を保存し、10秒以内に電源をオフにします。一部の車両では、シガーソケットは車両エンジンオフにした後も電源を維持します。車のバッテリーの消耗を避けるためにも、車両エンジンの電源が切れた際にドライブレコーダーを手動で取り外してください。

2.3.2 手動電源のオン/オフ

手動で電源をオンにするは、電源ボタンを押します。

オフにするは、電源ボタンを短くても3秒間押し続けます。

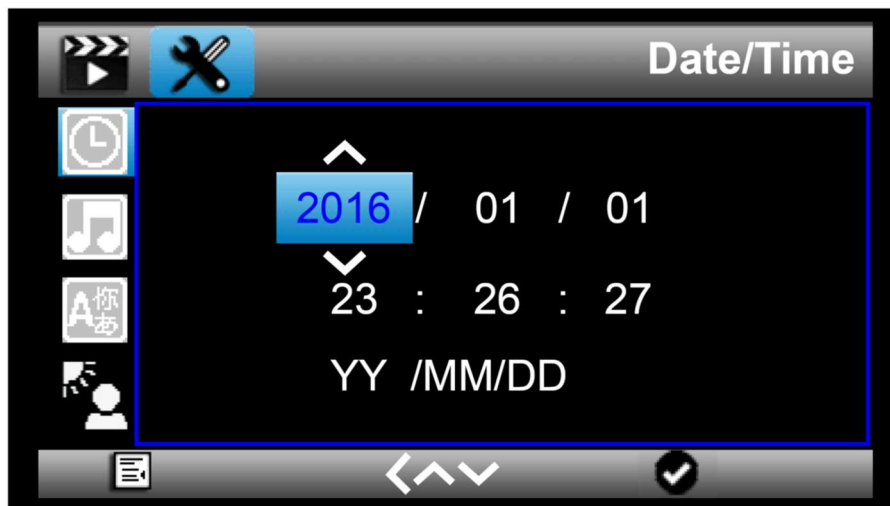


2.4 初期設定

2.4.1 日付と時刻を設定します

正しい日時を設定するには、次の操作を行います。

1. 田ボタンを2回押してセットアップメニューに入ります。
2. ▲/▼ボタンを押して日付/時刻を選択し、○ボタンを押します。
3. ▲/▼ボタンを押して項目を変更し、○ボタンを押して別の項目に移動します。
4. 日付と時刻の設定が完了するまで、手順3を繰り返します。



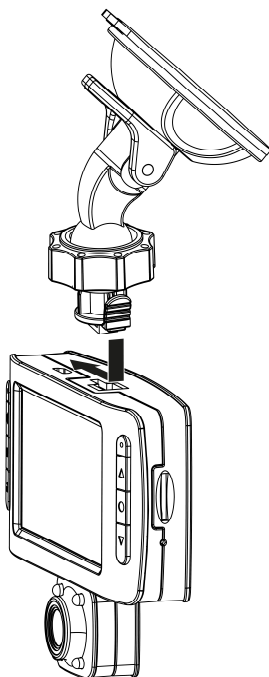
既定の設定			
解像度	1080P(メイン) 720P(サブ)	日付表示	オン
DualRecord	オン	G-SENSOR	低
ループ録画	3分	駐車ガード	オフ
インターバル撮影	オフ	日/時刻	設定
WDR	オン	操作音	オン
露出	+0	言語	日本語
動体検知	オフ	スクリーンセーバー	オフ
録画時の音声録音	オン	IR LED	オン

2.5 車両への取り付け

2.5.1 フロントガラスへブラケットの取付

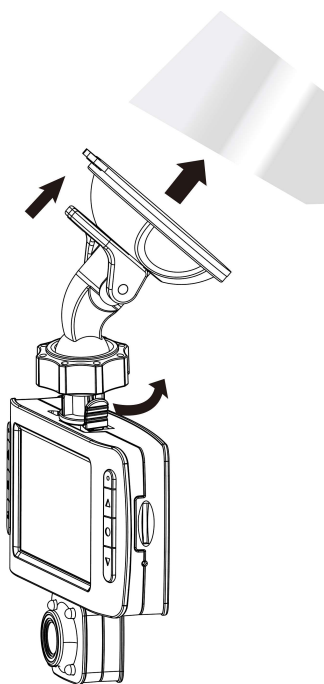
1. ブラケットをドライブレコーダーに取り付けます。

ブラケットがドライブレコーダーに固定されるまで取付部に差し込みます。



2. クランプを押し下げてロックを解除し、吸引カップを水平にして、吸引カップをフロントガラスに押し付けます。

吸引カップをフロントガラスにしっかりと固定し、クランプを押し上げて吸引カップをフロントガラスに取り付けます。吸引カップがしっかりと固定されていることを確認します。

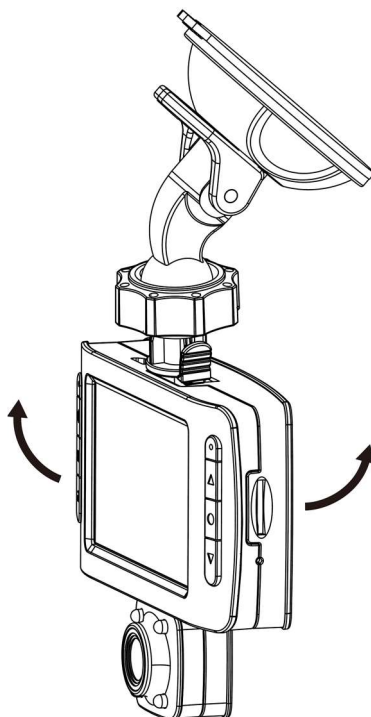


警告:ルームミラー裏のフロントガラスにフィルムが貼ってある場合、上から設置するとフィルムが破損する可能性があります。

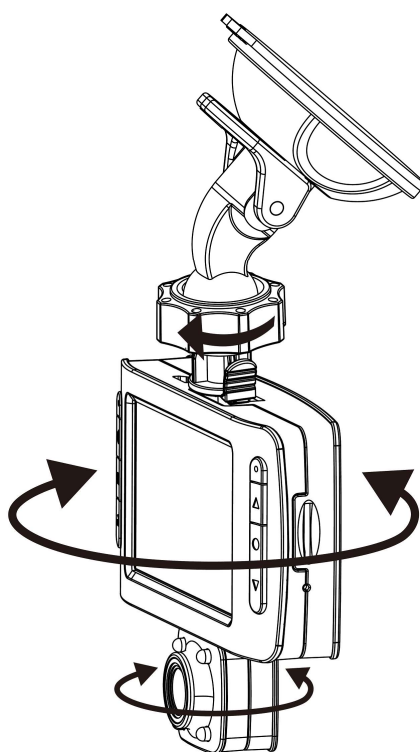
※両面テープ式は、はく離紙を剥し取付けたい位置に貼り付けてから本体の取付を行ってください

2.5.2ドライブレコーダーの位置を調整します

1. ブラケットのナットを回して緩め、ドライブレコーダーの前後の角度調整を行い垂直にします。



2. ドライブレコーダーとサブカメラを地面と進行方向に対して、水平の角度調整を行います。



3. ナットを締めて、ドライブレコーダーがしっかりと所定の位置にロックされていることを確認します。

3. 設定の調整

3.1 メニューの使用

画面上の表示(OSD)メニューを使用して、ビデオ録画やその他の一般的な設定をカスタマイズできます。

録画中



1. 録画中の場合は、○ボタンを押して録画を停止します。
2. 田ボタンを押してメニューを開きます。
3. ▲/▼ボタンを押してメニューオプションを選択し、○ボタンを押して選択したメニューに入ります。
4. ▲/▼ボタンを押して希望の設定を選択し、○ボタンを押して設定を確認します。
5. ボタン田を押してメニューを終了します。
6. microSDカードをフォーマットするには、
[セットアップ]メニューで[フォーマット]を選択し、ポップアップウィンドウで[OK]を選択します。

警告:microSDカードに保存されたすべてのデータはフォーマット後に消去されます。

7. G-sensor(加速度センサー)で保護された動画を自動的に消去することはできません。
microSDカードのリフレッシュのため、
microSDカードのフォーマットを1-2週間ごとにお勧めします。
8. スクリーンセーバー機能
この設定では、上記操作の3、5、または10分後に画面がオフにすることができます。
スクリーンセーバーの時間を設定するには、[セットアップ]メニューの下にある[スクリーンセーバー]を選択します。
スクリーンセーバーモード中に画面をスリープ解除するには、ドライブレコーダーの任意のキーを押します。

3.2 メニューツリー

メニュー項目と使用可能なメニューオプションの詳細については、以下の表を参照してください。

録画メニュー

メニューオプション	説明	使用可能なオプション
解像度	フロントカメラの録画映像の画質を設定します。	1080P 720P
Dual Record	オフにすると、メインカメラのみが記録; オンの場合、両方のカメラで録画されます。	オン/オフ
ループ録画	繰り返しの上書き録画の機能です	オフ/1分/3分/5分
インターバル撮影	1コマ/秒の撮影モードで長時間の録画を記録します。	オフ/100ms/200ms/500ms
WDR	フロントカメラのWDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)機能のオン・オフを切り替えます。オンにすることで白飛びや黒つぶれを画像補正し、鮮明な映像を撮影できます。 オン時は、録画モード画面左上にWDRアイコンが表示されます。	オン/オフ
露出	+2.0から-2.0まで1/3刻みで撮影される映像の露出(明るさ)レベルの調整ができます。	+2.0, +5/3, +4/3, +1.0, +2/3, +1/3, +0.0, -1/3, -2/3, -1.0, -4/3, -5/3, -2.0
動体検知	動画撮影モード設定内の「動体検知」項目で設定をおこなっている場合、電源が入った状態でフロントカメラの範囲内に人や車などの動く物体を検知した際に、自動で録画をおこないます。録画を始めてしばらく動体感知しない場合は録画を終了します。	オン/オフ
録画時の音声録音	録画の際に、同時に音声を録音する機能のオン・オフを切り替えます。 オン時は、動画撮影モード画面の右側にマイクアイコンが表示され オフ時は、そのマイクアイコンに×マークが表示されます。	オン/オフ
日付表示	オンにした状態で録画すると、録画したフロントカメラ映像の下部に撮影時の年月日と時間を表示させた状態で録画します。	オン/オフ
G-sensor	G-Sensorの感度を調整します 衝撃を検知すると、事故前後の一定時間の映像を上書きされないように、自動的に専用フォルダーに記録されます。	オフ/高い/標準/低い
Parking Guard (駐車監視機能)	電源がオフ状態の時に振動を検知した場合、自動で本体が起動し30秒間録画をおこないます。 Parking Guard(駐車監視機能)がオンになっていると、動画撮影モード画面の左下に車体アイコンが表示されます。 オフにすると Parking Guard(駐車監視機能)をおこないません。	オン/オフ
日付/時刻	▲/▼ボタンを押して値を選択し、本体の○ボタンを押して値の決定を行います。	日付/時間の設定ができます。

フォトモードメニュー

メニューオプション	説明	使用可能なオプション
撮影モード	写真撮影時のタイマー設定が可能です。単写はタイマーオフ。それ以外は、ボタンの押し下げから数字の秒数後に撮影します。	単写 2Sタイマー 5Sタイマー 10Sタイマー
解像度	撮影する写真の解像度設定をおこないます。高解像度であれば、高画質での写真撮影が可能です。ストレージ容量をより消費します。低解像度であれば、画質は下がりますが高画質時に比べて撮影可能枚数は増えます。	12M 4032 x 3024 10M 3648x2736 8M 3264 x 2448 5M 2592x1944 3M 2048x1536 2M HD 1920x1080 VGA 640x480 1.3M 1280 x 960
連写	オフにすることで、ボタンを押すごとに一枚ずつ撮影ができます。オンにすることで、連写撮影ができます。	オン/オフ
画質	画像の鮮明さを設定します。ファインが高画質設定、ノーマルが通常画質設定、エコノミーが低画質設定となります。低画質にすると撮影可能枚数は増えます。	ファイン ノーマル エコノミー
シャープネス	シャープネス(輪郭強調)の調整ができます。ストロング、ノーマル、ソフトの順で補正が小さくなっていきます。	ストロング ノーマル ソフト
ホワイトバランス	ホワイトバランスの設定ができます。	オート 晴天 曇天 タングステン灯 蛍光灯
カラー	カラー設定ができます。	カラー 白黒 セピア
ISO	感度の設定ができます。	オート 100 200 400
露出	+2.0から-2.0まで 1/3 刻みで撮影される映像の露出(明るさ)レベルの調整ができます。	+2.0, +5/3, +4/3, +1.0, +2/3, +1/3, +0.0, -1/3, -2/3, -1.0, -4/3, -5/3, -2.0
手ぶれ防止	手ぶれ補正のオン・オフを切り替えます。	オフ/オン
日付	撮影画像に日付を表示させることができます。	オフ 日時 日/時刻

共通設定項目

 ボタンを 2 回押して共通設定項目に入ります。

メニューオプション	説明	使用可能なオプション
操作音	操作音のオン・オフ切り替えが行えます。	オン/オフ
言語	言語を設定します。	英語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、イタリア語、簡体字中国語、繁体字中国語、ロシア語、日本語
スクリーンセーバー	設定時間経過後スクリーンセーバー(画面電源を切る機能)の設定が行えます。 画面の電源を切りますが、ドライブレコーダーの録画は止まりません。	オフ/3分/5分/10分
IRLED	赤外線LEDを使用し、夜や暗い場所での撮影を可能にします サブカメラの録画色を決められます。	Day Mode(カラー) Night Mode(モノクロ)
フォーマット	microSDカードのフォーマット実行を行います。 警告:フォーマットが開始されると、microSDカード上のすべてのコンテンツは復元が行えません。	キャンセル/確定
デフォルト設定	すべてのオプション設定を 工場出荷時の既定の設定にリセットします。	キャンセル/確定
バージョン	ファームウェアのバージョンの表示します。	

4. ドライブレコーダーの使用

4.1 ビデオの録画

4.1.1 運転中にビデオを録画します

車両エンジンが始動すると、ドライブレコーダーが自動的にオンになり、記録が開始されます。

車両エンジンを切りますと録画は自動的に停止します。

または、○ボタンを押して手動で録画を停止します。

メモ：

一部の車種では、車両エンジンを切っても録画が続行されます。

この場合は、次のいずれかを実行します。

1. ドライブレコーダー本体を手動でオフにします。
2. シガーソケットからシガープラグコードを取り外します。

4.1.2 手動ビデオ録画

1. ○ボタンを押して録画を開始します。
2. ○ボタンを押して録画を停止します。

メモ：

1. 1つのビデオファイルは、設定した録画時間ごとに保存されます。
ループ録画設定で保存時間を変更出来ます。オフの場合、時間ごとに区切らずに保存されます。
2. ドライブレコーダーの録画は、microSDカードに保存します。
microSDカードの容量がいっぱいの場合は、microSDカード内の最も古いファイルが上書きされます。

4.1.3 緊急録画

通常ビデオ録画中に、車両が衝突や衝撃にあった際に緊急録画が自動的に開始されます。

ただし、手動の緊急録画をオンにするには、田ボタンを押すだけで緊急録画モードを開始します。

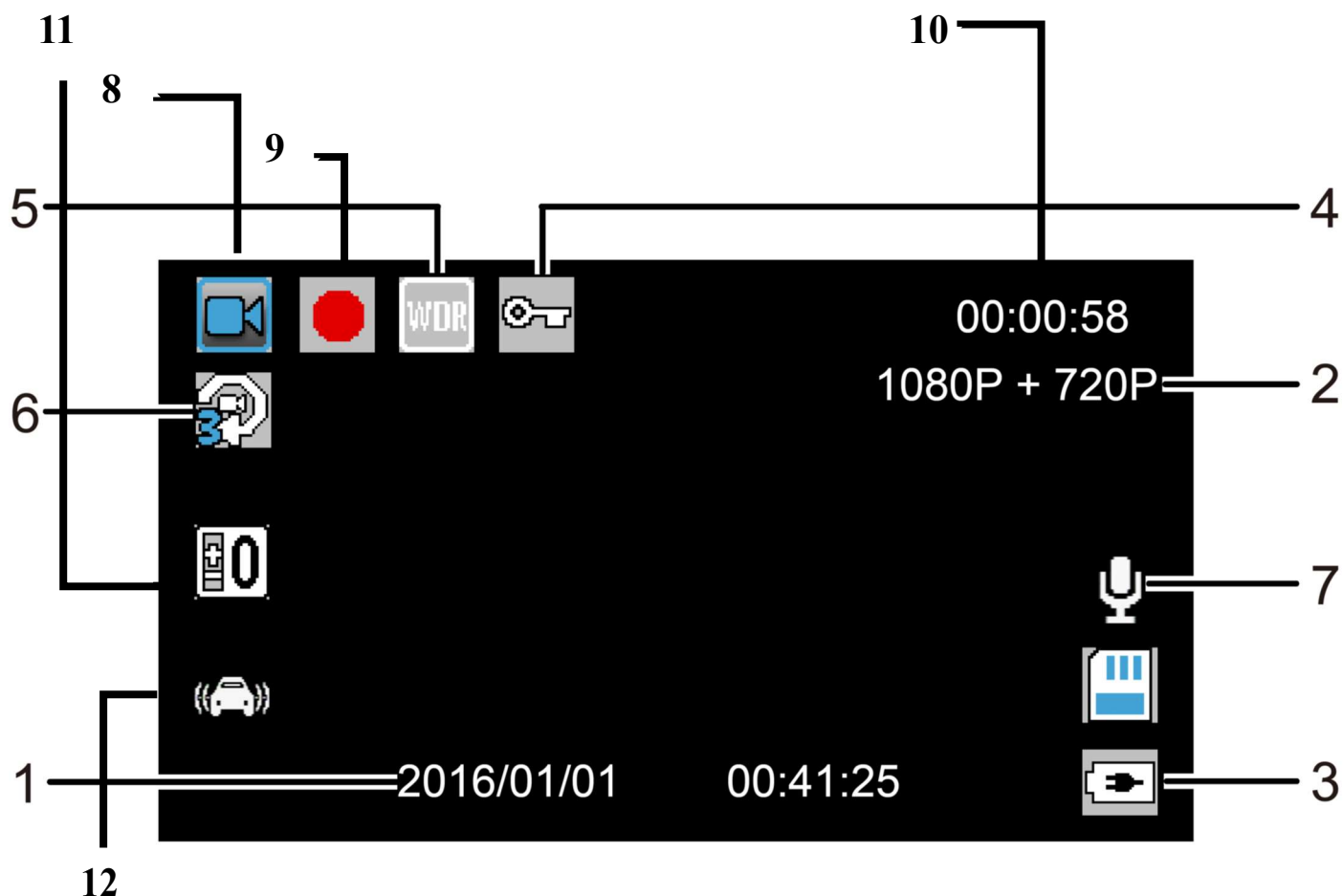
「緊急」メッセージは、画面の左上隅にすぐに表示され、記録されたファイルは連続的に表示され、上書きから保護されます。

録画を停止するには、○ボタンを押します。

緊急録画



4.1.4 録画面面



No.	項目	説明
1	日付と時刻	現在の記録日時を示します。
2	解像度	現在のビデオ解像度を示します。
3	バッテリー	バッテリーの残量の推定値、または充電中の場合を示します。
4	緊急録画(鍵アイコン)	映像が保護された場合、画面の上に鍵マークが表示されます
5	WDR	ワイド・ダイナミック・レンジ機能のオン・オフ オンにすることで白飛びや黒つぶれを画像補正
6	ループ録画	ループ録画時間(設定した時間(分単位)数ずつの録画ファイルを生成)
7	マイク	オーディオ録音のオン/オフ(録画をする際に、同時に音声を録音する)
8	録画モード	運転中の動画を録画します
9	録画中	ドライブレコーダーの録画を表示します。
10	録画時間	現在の動画撮影時間を表示します。
11	露出	撮影される映像の露出(明るさ)レベルを表示します。
12	Parking Guard (駐車監視機能)	振動を検知した場合、自動で本体が起動し30秒間録画をおこないます。

※現在設定されている項目を表示します。

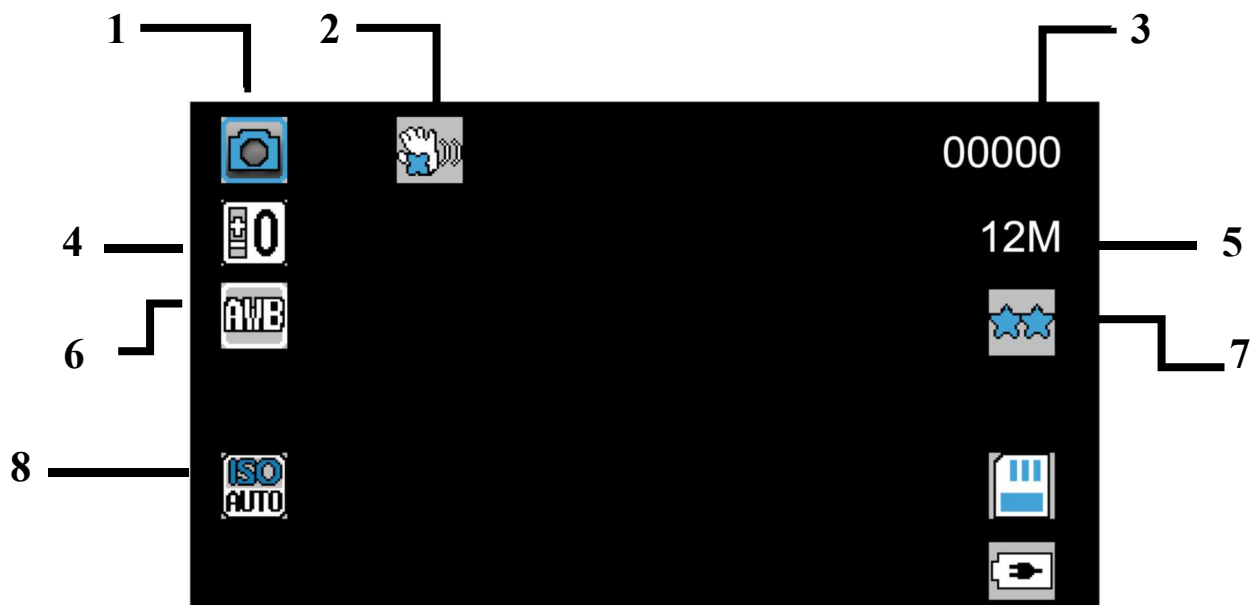
4.1.5 スイッチレンズ

録画中に  ボタンを押すとメイン画面をフロントカメラまたはサブカメラの表示に切り替えます。

4.16 写真を撮影する

現在の場面の写真撮影がドライブレコーダーで行えます。

スタンバイ画面から、 ボタンを押すとフォトモードになり、 ボタンを押して写真を撮影します。



No.	項目	説明
1	フォトモード	写真撮影が行えます。
2	手ぶれ防止	手ぶれ補正機能のオン・オフ オンにすると手ぶれ補正機能が働きます。
3	撮影枚数	残り撮影枚数を表示します。
4	露出	撮影される映像の露出(明るさ)レベルが表示されます。
5	解像度	撮影する写真の解像度を表示します。
6	ホワイトバランス	ホワイトバランスの設定値を表示します。
7	画質	画像のレベルを星で表示します。
8	ISO	ISO感度の設定を表示します。

※現在設定されている項目を表示します。

メモ:録画が進行中の場合は、 ボタンを押して最初に録画を停止します。

4.2 再生動画と写真

- 録画が進行中の場合は、 ボタンを押して録画を停止します。
スタンバイ画面が表示されます。
-  ボタンを2回押して再生モードに入ります。
-  ボタンを押して、閲覧する映像と写真を選択し、 ボタンを押します。
-  ボタンを押して次または前のファイルを表示し、 ボタンを押すとファイルが全画面表示されます。

4.2.1 ファイルの削除と保護

ファイルを削除するには、次の操作を行います。

1. 録画が進行中の場合は、○ボタンを押して録画を停止します。
2.  ボタンを2回押して再生モードに入ります。
3. ▲/▼ボタンを押して[ファイル]を選択し、 を押してファイルを削除します。
4. ▲/▼ボタンを押してオプションを選択します。

消去

項目	説明
このファイルを消去の削除	現在表示されているファイルを削除します。
全てのファイルを消去	すべてのファイルを削除します。

5. ○ボタンを押して削除を確認します。

保護

項目	説明
このファイルを保護	現在表示されているファイルを保護します。
このファイルの保護を解除	現在表示されているファイルの保護を解除します。
全てのファイルを保護	すべてのファイルを保護します。
全てのファイルの保護を解除	すべてのファイルの保護を解除します。

メモ:

削除されたファイルは復元できませんので、削除する前に映像・画像の保存をお勧めします。

G-sensor(加速度センサー)で保護された動画を自動的に消去することはできません。microSDカード内の必要な映像の保存を行い、microSDカードのフォーマットを1-2週間ごとに行うことをお勧めします。

5. 仕様

項目	説明
映像素子	1/2.9型CMOSセンサー
有効ピクセル	1920x1080(メインカメラ) 1280x720(サブカメラ)
ストレージメディア	microSDHC、最大32GBクラス6以上をサポート
モニター	3.0インチディスプレイ
レンズ	広角固定フォーカスレンズ メインカメラ:F2.0 サブカメラ:F2.4
フォーカス範囲	2.5m~無限大
記録解像度	解像度:1080P(1440x1080):720P(1280x720) シングルモード:1920 x 1080
	H.264
静止画	解像度:12M、10M、8M、5M、3M、2M、1.3M
	フォーマット:JPEG(DCF)
G-sensor (加速度センサー)	内蔵
ISO	自動
ホワイトバランス	自動
マイク	Yes
スピーカー	Yes
USBポート	USB2.0 (micro-Bタイプ)
バッテリー容量	リチウムポリマー電池(500mAh)
動作温度	-10°~70°
動作湿度	20~70%RH
保存温度	-20°~70°
寸法	101.3x78x34.1mm
重量	約:87g
電源	入力:DC12-24V,出力:DC5V1A

6. よくある質問

症状	原因	対処方法
電源が入らない	シガープラグコードが正しく接続されていない。	シガープラグコードが本製品の microUSB ポートと車両のシガーライターソケットにしっかり接続されているかご確認ください。
	シガーライターソケットを分岐しており、電力不足が発生している。	分岐させず車両のシガーライターソケットへ直接しっかりと接続してください。
	バッテリー残量がない。	車両に接続後車両エンジンを掛けて充電をおこなってください。
	動作が不安定になっている可能性があります。	本体のリセットボタンを押して下さい。それでも改善しない場合は、microSD カードのフォーマットをおこなってください。
microSD カードを認識しない	microSD カードスロットに microSD カードが入っていない。	microSD カードスロットに microSD カードを挿入してください。
	本製品で使用できないファイルシステムでフォーマットされた microSD カードが挿入された。	本製品の設定メニューからフォーマットをおこなってください。
	microSD カードがフォーマットされていない。	フォーマットをおこなってください。それでも改善しない場合は、microSD カードを交換してください。
	microSD カードの読み込みや書き込みができなくなっている。またはその他異常がある。	
画面にドット抜け(輝点・黒点)がある	液晶パネルの構造・特性によるものであり、故障ではありません。	液晶パネルは、精密な技術によって製造しているため、その特性として、液晶パネル内に点灯しない画素(画素欠け:黒点)や、いつも点灯する画素(常時点灯:輝点)が存在する場合があります。
撮影した動画や写真がぼやける	レンズが汚れている。	柔らかい布などで乾拭きしてください。
録画したはずのファイルが見つからない	録画容量に空きがないため、上書きされてしまった。	必要なファイルは保護するか、こまめにパソコンに保存してください。
	使用している microSD カードの容量が推奨容量より少なく、すぐにファイルが上書きされてしまっている。	推奨容量である 8GB から 32GB の microSD カードを使用してください。
操作を受け付けない	フリーズしてしまっている。	先端が細いもので、穴奥のリセットボタンを押して再起動してください。
	microSD カードが壊れている。	microSD カードを抜いて改善する場合は、microSD カードの異常が考えられます。別の microSD カードに交換することで改善される可能性があります。
	極端に暑い、または寒いところで操作している。	ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内など高温となる場所に放置しないでください。あまりに熱を持っている場合、起動しない、動作が不安定、モニターの表示異常などの症状が出て、最悪の場合火災やけがの原因となります。車内が適温になり、本体に熱がない状態で使用を開始してください。
Parking Guard の録画ができない	バッテリー残量がない。	車両に接続後車両エンジンを掛けて充電をおこなってください。
	Parking Guard がオンになっていない。	動画撮影モード設定の Parking Guard を適切なレベルに設定してください。
日にち時間表示がずれている	内蔵バッテリーが放電しきっている。	本体に電源が入った状態でしばらく充電をおこなった後、日にちと時間の再設定をおこなってください。車両に長期間乗らない場合も同様に症状が出る場合がありますので、同様に充電後再設定をおこなってください。また、内蔵バッテリーの劣化により放電までの時間が早まる場合があります。
録画・撮影ができない	保護された映像・画像で microSD カードの容量がいっぱいになっている。	必要に応じて映像・画像の保存をおこなった後、microSD カードのフォーマットを行ってください。
	microSD カードの書き込みができなくなっている。またはその他異常がある。	フォーマットをおこなってください。それでも改善しない場合は、microSD カードを交換してください。